

リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田小学校

【取組内容】 社会科～資料を活用した歴史の探究、情報活用能力の向上を目指して～



社会科の学習において、資料を活用した情報の取捨選択と発信の力を育成することを目的にした授業を実施しました。「縄文時代の暮らし」では、発掘された遺物や遺跡を基に、当時の人々の生活の様子を探る学習を行いました。児童は提供された資料の中から必要な情報を選び取り、それをもとに協働的に考察を深めることができました。また、「天皇中心の国づくり」では、聖武天皇による大仏造立に着目し、なぜその事業が行われたのかを資料を基に探究しました。児童は資料を分析し、自分なりの考えを持った上で、協働的な学びを通して友達に分かりやすく伝える活動を行いました。これらの学習を通じて、児童は資料をもとに歴史を考察する力を養うとともに、得た情報を整理し表現する力を高めました。